

1.はじめに

メタファーは普遍的なのか、文化相対的なのか。つまり、どの言語でも同じようなメタファーが存在するのか、それとも、言語によって大きく異なるのか。メタファーの普遍性と文化相対性に関する研究は始まっているが（Cienki, 1998, Kövecses, 2001, 大堀, 2002）興味深い重要な問題であるにもかかわらず、いまだ黎明期にあると見てよかろう。本稿ではメタファーの普遍性を検討する一助として、過去におけるメタファーの日英対照研究をいくつか概観する。

メタファーの定義と研究手法は Lakoff and Johnson (1980) に従う。メタファーの普遍性とは多言語を通して同様のメタファーが見られることを意味するものとする。対照研究は普遍性研究へのひとつのステップである。英語と日本語で検討されるメタファーは、「希望」「使役」「問題」に関するものである。なお、それぞれの研究は、紙面の都合上、非常に簡略化して紹介せざるをえない。詳細は原論文をご参照頂きたい。第2節では「希望」のメタファー、第3節では「使役」のメタファー、第4節では「問題」のメタファーを取り扱う。第5節はまとめである。

2.「希望」のメタファー

希望について、日本語で（1）のような表現群が特定されている。

- (1) a. 希望をつなぐ b. 希望を捨てる c. 希望が生まれる
d. 希望が芽生える e. 希望が膨らむ f. 希望が湧いてくる
g. 希望の光が差す

すなわち、希望が、「線」「所有物」、「生物」、「膨らむもの」、「液体」、「光」などと表現されていることがわかる。

番号	モト領域	日本語	英語
1	線	○	△
2	所有物	○	○
3	生物	○	○
4	膨らむ	○	○

5	水	△	x
6	上	△	△
7	光	◎	◎
8	火	x	○

表1 「希望」のメタファーの日英比較

日本語でも、希望を火と捉えたように見える表現は存在するが、「希望の火がともる」というより「希望の灯がともる」の方がそれらしく感じられるし、「希望に燃える」とは言うが、燃えているのは感情であって、希望ではないかもしれない。

それに対して英語の HOPE IS FIRE 表現はかなり頻繁に思われる（記号はBNC）。

(2) **JYD 339** Her eyes lit with hope.

(3) **JY5 3684** The tiny darting flame of hope died instantly as the door swung open.

(4) **JYD 3727** Can I take a message?"; she said on a sudden flare of hope.

(5) burning with hope (6) alight with hope (alight 灯火がともされていた)

英語には、<<希望は水である>>というメタファーの存在を示す用例は限られていた。

(7) a. 希望に満ちる b. 希望にあふれる c. 希望が湧いてくる

3. 使役/因果のメタファー

本節では、Causation に関して検討した研究からまとめる。

(8) a. The implementation of the new technology increased the output.

b. 新しい技術を導入したので、産出量が増えた。

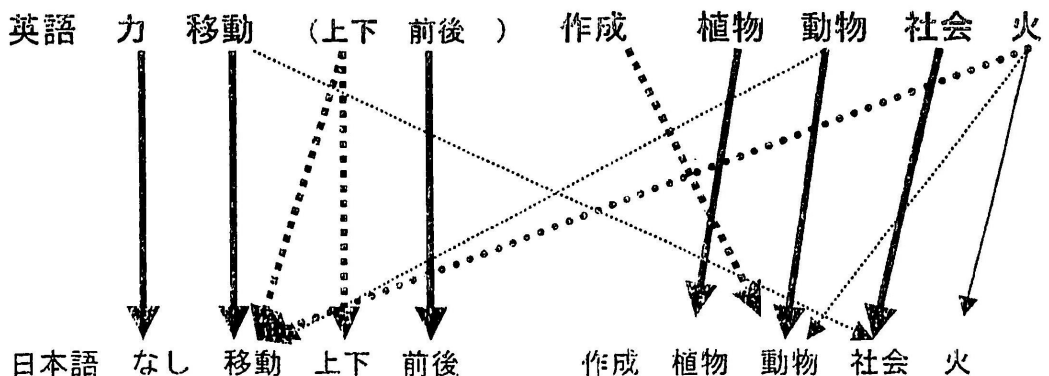


図2. 日本語と英語におけるCausationメタファーの対応関係概略

詳細データは省くが、日本語が「なる」的言語であり、英語が「する」的言語であること（池上，1981）による自動詞と他動詞の相違を除けば、かなり強い対応関係がある。

4. 問題のメタファー

「問題」のメタファーの用例を日本語で(9)に挙げる。主に二つの相違点がある。一点は、<問題は敵である>>メタファーに関する<連続体>と<個体>の相違、もう一点は「問題」を「病」と捉える概念化に関してである。

(9a)に現れるような<問題は敵である>>というメタファーでは、(10)～(12)に見られるように、「害虫」のような「目に見えないたくさん敵」のように捉えられている。

- (9) a. 問題と闘う b. 問題を抱える c. 問題にぶつかる d. 問題の根は深い
e. 問題がこんがらがる f. 問題がはびこる g. 問題がくするぶる

- (10) a. 敵を倒す b. 敵を攻める c. 敵を一気にやっつける
(11) a. *問題を倒す b.* 問題を攻める c. OK 問題を一気にやっつける
(12) a. * 害虫を倒す b. * 害虫を攻める c. OK 害虫を一気にやっつける

これに対して、英語の PROBLEMS ARE OPPONENTS メタファーにはこのような制約はない。

(13) AA8 401 A PSYCHOLOGIST whose research suggests that almost a fifth of pupils are being bullied has called for government action to tackle the problem.

(14) C85 3625 He should be grappling with the problem of how to stay alive, but instead could think of nothing but the problem of Jess.

(15) JJ7 742 If the problem you're confronted with is a ten thousand pound bit of influence, then it's worth spending a few hundred pounds in a preparation.

(16) CT7 421 DataFocus says the look-and-feel technology just isn't there yet and is looking for partners to help master the problem.

(17) C97 2319 Another problem will begin to raise its ugly head, in the form of parasites.

(18) AN3 835 To attack this problem, a Recommended Basic Food Basket was introduced, which meant the subsidising of essential foodstuffs.

英語では、「(19) ?問題をてなづける」、「(20) ?問題が鎌首をもたげる」「(21) ?問題を攻める」など、日本語としては違和感のある、生物的個体的表現がコーパスに見受けられる。

また、(19)～(22)に見るように、日本語における<<問題は病である>>メタファーは生産性が低い。これに対し、(23)～(29)に見るように英語は非常に生産的である。

- (19)OK 問題が再発する (20)? この問題の特効薬
(21)? 問題を対処療法で治療する/治す (22) ??? 問題が完治する

- (23) CLT 652 To cure the louse problem use Cuprazin, as per the instructions.
- (24) GVH 134 Consequently, the recommendations made by, for example, the Marre Committee are much more specific in their treatment of the problem.
- (25) AS4 711 Successive new channels cut in 1402 and 1455 failed to remedy the problem, and Pevensey Castle, which still rises dramatically above the marshes whose creation ensured its demise, was abandoned.
- (26) GU5 675 As the upper oceanic layers become saturated with carbon, the fraction of the atmospheric carbon dioxide which the oceans can absorb may be reduced, thereby exacerbating the carbon dioxide problem.
- (27) GU9 862 The drought had aggravated the effluent problem as the company was forced to rent tankers to carry away the effluent which was an even more costly, though temporary, solution.
- (28) I57 981 For government the problem is thus an acute one.
- (29) A shortage of housing has been a chronic problem. from Seoul Housing I Copyright © 1994-2001 Encyclopædia Britannica, Inc.

5. まとめ

“Let’s attack this problem!”のような用例はネイティブによれば比較的新しいとの回答があった。日本語と英語のメタファーは比較的類似しており、さらに、「する」と「なる」や<個体>と<連続体>のような言語文化的「嗜好」パラミータを少数設定し、今回の相違をこれに還元すれば日本語と英語のメタファーは意外なほど類似しているといえる。

主要参考文献

- Cienki, Alan. 1998. STRAIGHT: An image schema and its metaphorical extensions. *Cognitive Linguistics*. 9-2, 107-149.
- Kövecses, Zoltán. 2002. *Metaphor: A practical introduction*. Oxford: Oxford University Press.
- Lakoff, George and Mark Johnson. 1980. *Metaphors we live by*. Chicago: University of Chicago Press.
- 池上嘉彦 1981 『「する」と「なる」の言語学』 大修館書店
- 鍋島弘治朗 2002a. 「Causation(使役/因果)の概念化－認知メタファー理論の視点から－」『文学論集』第 52 巻 第 2 号 関西大学文学会
- 2002b. 「『希望』の概念化－認知メタファー理論の視点から－」『英文学論集』第 42 号 関西大学文学会
- 鍋島弘治朗・菊地敦子 2003. 「『問題』の概念化－認知メタファー理論の視点から－」『文学論集』第 53 巻 第 2 号 関西大学文学会
- 野村益寛 2002. 「<液体>としての言葉：日本語におけるコミュニケーションのメタファー化をめぐる」大堀壽夫編『認知言語学Ⅱ：カテゴリー化』東京大学出版会
- 大堀壽夫 2002 『認知言語学』 東京大学出版会